
残り少ない夏休み

笏奈真知

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

残り少ない夏休み

【Nコード】

N7439H

【作者名】

笏奈真知

【あらすじ】

残り少ない夏休み。大学生の兄が突然旅行に誘ってくれた。でも、兄の目的は分からないまま、目的地へ到着。そこで待っていたのは

……

プロローグ

もしクラゲにさされてしまったら、なんて考えただけでありとあらゆる患部が口内炎にでもなったように痛く感じる。

「あつ、海だ！」

どちらかと言えば真横の運転席でサザエさんのEDをフルコーラスで歌っている兄の方が人間的には大火傷してるけれど、和菓子のような柔らかい砂浜が見えると、私のテンションは自然と上がった。いった。

「宿泊予定の旅館もすぐそこ……！ 多分、あつという間にトリップ確定！」 「憶測で福本作品みたいな台詞回し使うの禁止ね！」

時効はまもなく16時。

お腹が減った。

終わりが近づく夏休みに、大学生の兄がいきなり旅行に行こうと言い出した。

私は兄が先立つものでもあるのかなと思ってヒョコヒョコついて来たまでは良かったのだけれど……。

先行きを占うような発言、そぶりが兄からは感じられない。

「ねえ、お腹減った」

やや強めに言った。兄の目的を知るには私自前の審美眼を使うしかない。

「あまりに局地的だぜ……ただただ個人的な発言を聞かされ続けたらコツチも腹減るんだけど」

「じゃあ、旅館まだ？」 「首を長くして待っていたまえ！」

「もう……知らない!!」

生憎、私はこの後私は寝てしまっていた。

だからこの破天荒な兄がどうなるつと知ったこつちやない。

兄とすごす最後の夏になるなんて、この時は私は知るよしもなかったんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7439h/>

残り少ない夏休み

2011年1月11日15時34分発行